

東北大学附属図書館報

木這子



BULLETIN OF
THE TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

気大学長）主催の機械翻訳研究会（NSFの補助金を受けていた）特に、大学図書館行政の窓口の一元化としての情報図書館課の設置（S.40 学術情報主任官室が改称）当時のことは全く感慨無量です。因に、この課の所掌事項として大学図書館視察員制度、実態調査、職員講習会、指定図書制度、業務の機械化、施設計画要項の作成、その他、文献共同利用施設の整備（文献センターの設置）、ドキュメンテーションの啓発普及、学術資料の整備、研究者・研究機関・学協会等の調査、学術図書・雑誌総合目録の作成、学術用語の制定および普及、研究成果刊行費補助金等のほか、最近参考図書費、学術雑誌（外国）購入費など多くの業務が増加しています。

昭和40年、七大学の附属図書館の部課制の設置により、名古屋大に転任、そして新構想の筑波大の業務など、全く貴重な多面的な経験を幾多させて戴きました。特に、第一回大学図書館職員講習会の東日本地区会場として、竣工直後の松下会館を借用し（当時の附属図書館長は金谷治前文学部長）、多くの館員の方のお手伝を得たことが昨日のことのよう思い出されます。

図書館関係業務に携わって以来25年、課長を拝命して13年目を迎え、過去に多くの優れた上司、先輩のご指導、ご鞭撻と温かいお励ましを戴き、良き部下に恵まれ、微力ながら日夜大学図書館の発展のため仕事をさせて戴いておりますが、欧米諸国に比し我が国の大学図書館は大変遅れていると言われております。近年、我が国の大学図書館建築も近代化され、その内容面も機能面も改善されつつあり、最も遅れていた電算機による学術情報サービスについても開発の方途が開け始めております。然し、文部省の勝谷前情報図書館課長が「学術情報政策の現状と課題」（文部時報1977.7.1 No 1202, 60～64 p）に述べられておりますとおり、大学図書館の改善整備は大変遅滞している点が多い現状です。この多種多様な問題を抱えた大学図書館の直接現場に携わる者として、この名誉ある伝統に支えられた東北大附属図書館の業務担当者の一員に参加させて戴きました機会に、初心に帰って、軽捷過ぎず、効愚に東北人になりきって、東北地区のため、東北大学のため、図書館のために誠心誠意微力を尽す覚悟です。何卒、東北大の教職員各位の温かいご支援、ご協力、ご指導をお願い致します。

＜付記＞ 産湯は京都（長兄は京都府立三中、現在の山城高、海軍でサイパン玉砕）四～十四才まで東京（次兄は東京府立一中、現在の日比谷高、陸経六期卒後ビルマで戦死）新潟へ疎開、新潟大卒、文部省図書館職員養成所の大卒2年コースの第一回卒業、東大経済学部助手、大学学術局学術情報主任官付（S.36）、名大への転任（S.41）の時、単身は曲解を受けるので家族ぐるみで転任しなさいとの教えを受け、新築間もない柏市の自宅を売却、父は名大離任直後、名古屋で病死、母は現在名古屋に残留しているが杜の都に転居予定です。

東北大学附属図書館の 工学分館の設置及び農学部分館の 名称変更について

このたび「国立大学の附属図書館に置く分館を定める訓令」の一部が改正され（昭和53年3月27日・文部省訓令第3号）、昭和53年4月1日から本学に「工学分館」が設置されると共に、農学部分館は「農学分館」に名称が変更された。今後附属図書館は、中央図書館を軸とした医学・工学・農学の3分館制の実現によって、部局の枠を超えた主題別分館構想へ向けて前進することになった。

なお、この改正に伴い農学分館は従来の農学部及び農学部附属農場・演習林に加えて新たに農学研究所の図書館業務をも所管することになっている。

お 知 ら せ

入館券の交付について

東北大学附属図書館（本館）を利用する本学教職員及び学生は、利用者として登録をし入館券の交付をうけて下さい。特に、新入生、学部進学の新入生、新入院生の方は、入館券の申込をし、交付を受けないと図書館の利用が出来ませんのでご注意下さい。入館券の申込受付は、4月10日（月）から学生は開架カウンター（2階）、教職員・院生はメインカウンター（1階）でおこなっています。

時間外開館について

昭和53年度の時間外開館の実施期間は、下記の通りです。なお開館時間は、9時から平日18時30分まで、土曜日は15時までです。

実施期間

4月10日（月）～ 7月8日（土）

9月1日（金）～ 12月16日（土）

1月8日（月）～ 2月24日（土）

昭和51年度中央図書館利用状況の概要

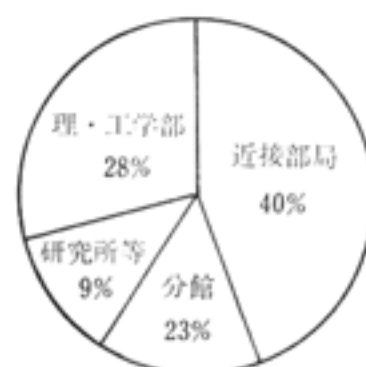
中央図書館の利用状況について、昭和51年度利用統計をとりまとめた。これらのうち主要なものを図表にして次に掲載する。

(注) 表中の〔 〕は前年度データである。

- 1 全学利用対象者総数 18,316人
 分館（医・農）利用対象者を除く数 14,067人
 近接部局利用対象者数 7,306人

2 推定入館者数

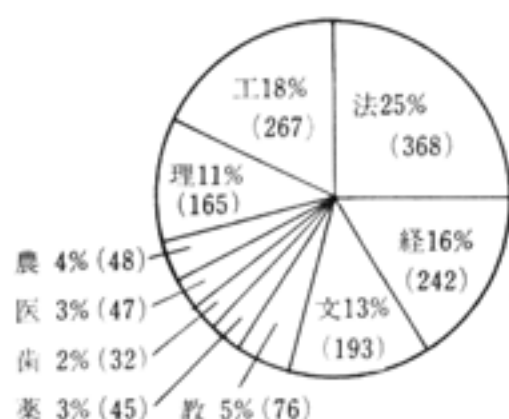
1年間総数 431,000人
 [474,000]
 1日平均数 1,480人
 [1,650]



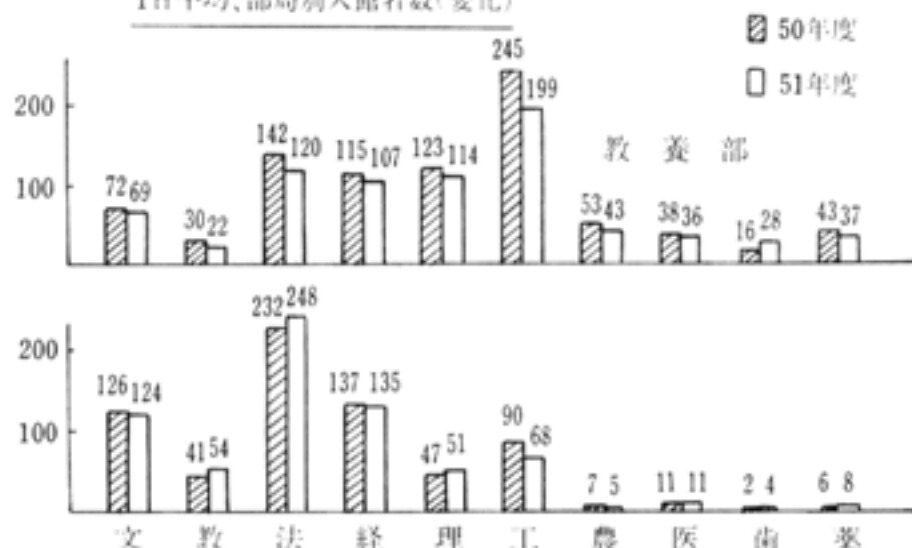
学生部局別入館者数（入館者調査結果）

	文	教	法	経	理	工	農	医	歯	薬	計	合 計
教養部 1日平均(人)	69	22	120	107	114	199	43	36	28	37	775人[877]	1,483人
1人当年回数	58	45	73	63	54	33	37	42	72	60	48回 [53]	[1576]
学部 1日平均(人)	124	54	248	135	51	68	5	11	4	8	708人[699]	
1人当年回数	103	98	126	77	25	11	5	6	6	17	41回 [39]	44回 [46]

1日平均入館者、部局別比率



1日平均、部局別入館者数(変化)



3 開架図書室、閲覧・貸出冊数

単位百冊

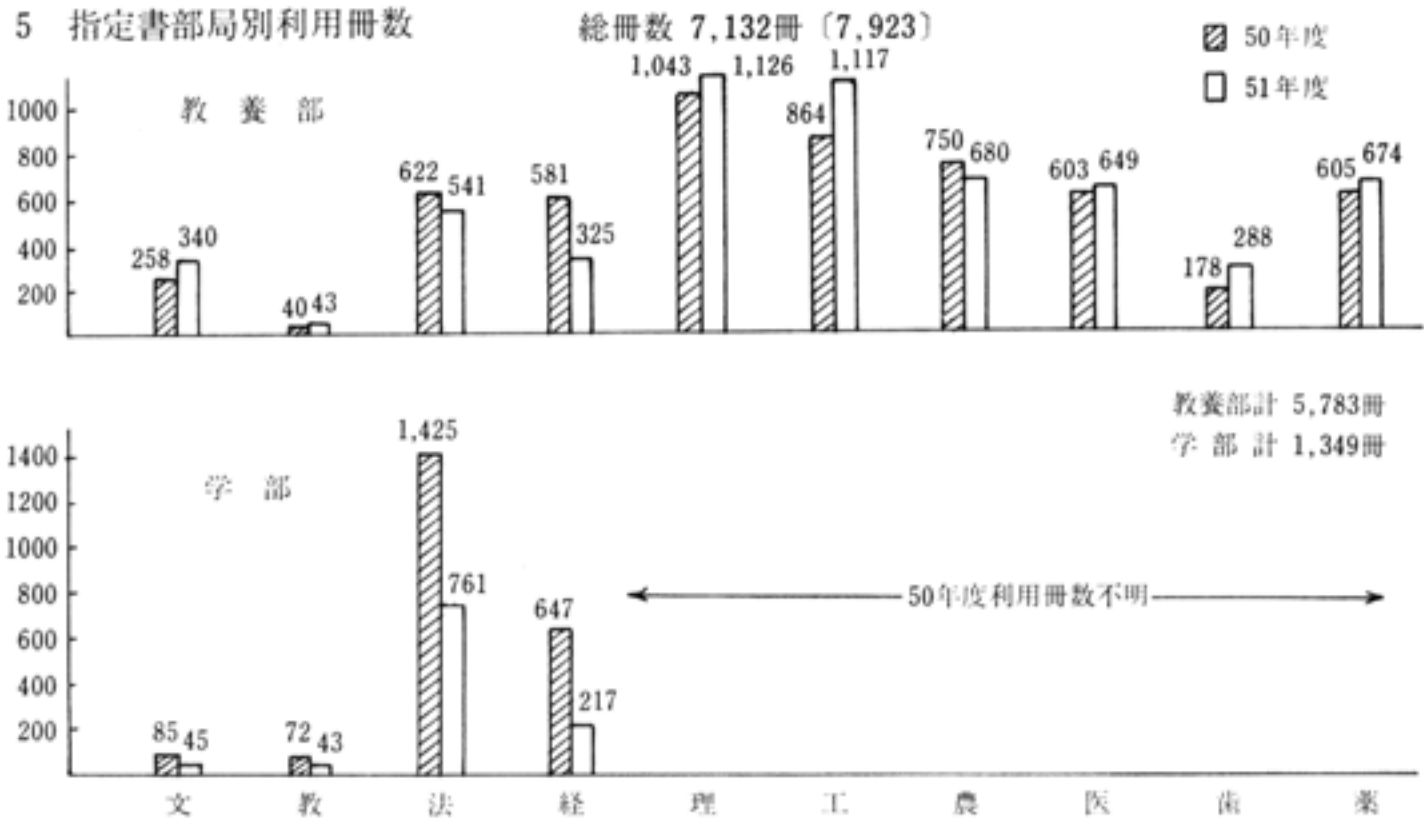
	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	雑誌	計
閲 覧	27	36	46	155	207	21	2	17	73	71	11	666
貸 出	10	32	27	96	113	11	2	7	5	55	—	358

4 メインカウンター、閲覧・貸出冊数

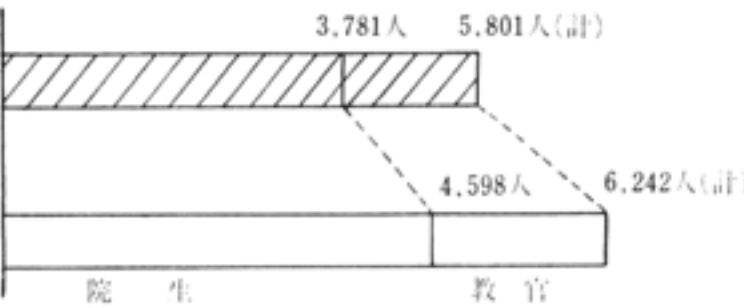
単位百冊

	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	雑誌	計
閲 覧	2.8	5.7	4.4	12.9	0.8	0.3	—	1.4	0.7	3.2	20.8	53.0
貸 出	12	24	26	74	3	—	—	3	5	19	23	189

5 指定書部局別利用冊数



6 入庫者数の変化



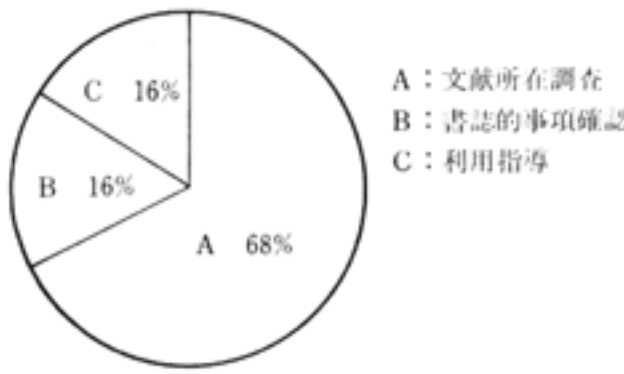
7 文献複写実績

件数	3,718件 (3,581)	枚数	59,993枚 (92,842)	金額	2,810千円 (3,029)
学内	2,814件 (2,604)	1,194千円 (1,682)			
学外	904件 (977)	1,616千円 (1,347)			

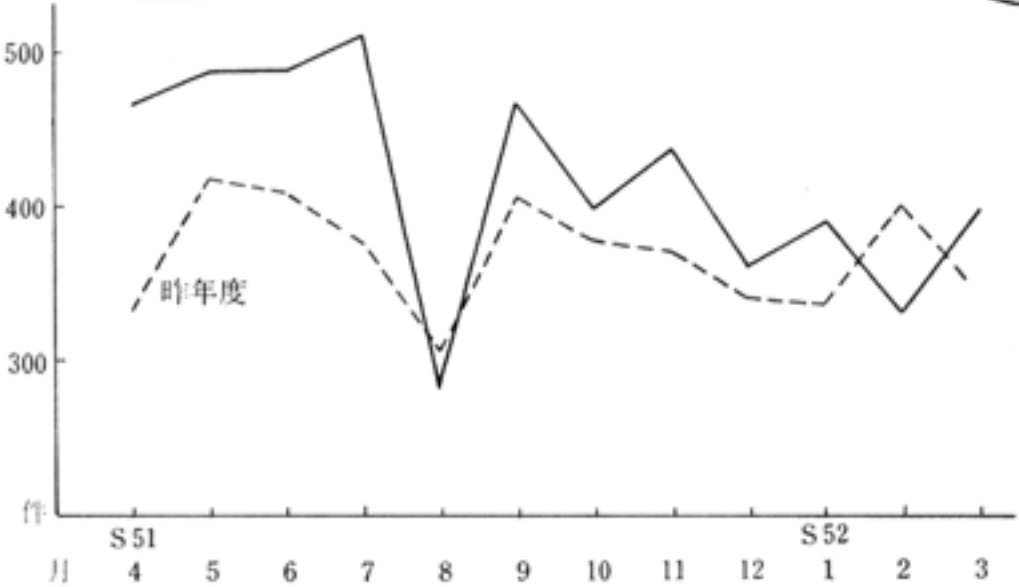
8 レファレンス応答件数 5,026件 (4,420)

	教 官	院生学生	図書室	計
人文社会	412 (165)	996 (471)	17 (25)	1,425 (661)
自 然	1,060 (152)	1,531 (395)	142 (1,276)	2,733 (1,823)
計	1,472 (317)	2,527 (866)	159 (1,301)	4,158 (2,484)

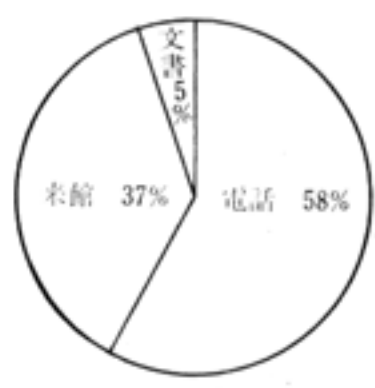
質問内容別比率



質問件数月別推移



手段別比率



文献複写受付地区別大学別統計（国立大学の分）昭和51年度

学外からの文献複写受付は、次に示すように、平均に各地区、大学研究機関に分布していることが分る。

1 地区別

地区別①	申込機関数②	申込件数		申込文献数		複写不能件数③
		国費	私費	国費	私費	
北海道地区	11	52	15	89	24	14
東北	9	56	9	127	23	18
関東	11	40	11	89	15	10
東京	11	25	17	36	27	8
北信越	18	43	13	106	29	5
東海	10	57	16	98	28	15
近畿	14	47	28	66	54	12
四国	18	54	12	64	20	11
九州	13	44	13	61	16	9
計	115	418	134	736	236	102

- ① 地区別区分は国立大学図書館協議会の区分による。
 ② 申込機関は「日本の図書館」1977年版による。
 ③ 複写不能の主たる理由は、所蔵なし、遠隔地のため図書貸出不能、貸出、整本中、申込書記載不備（巻、年号合致せず。該当者、論文名なし）等である。

2 大学別

大学別	申込件数	申込件数		申込文献数		複写不能件数
		国費	私費	国費	私費	
北海道大学	33	25	8	32	15	10
岩手	24	22	2	50	13	6
山形	18	17	1	53	8	3
新潟	21	12	9	21	24	4
金沢	18	14	4	37	4	0
名古屋	33	21	12	38	21	3
京都	31	10	21	10	40	5
大阪	31	25	6	33	9	7
広島	22	15	7	17	7	4
九州	19	10	9	11	10	5

申込件数の多い上位10大学をあげた（分館・図書室よりの申込も含む）

昭和52年度外国雑誌購入費による雑誌の購入について

昭和52年度、新たに文部省から示達を受けた外国雑誌購入費により年度内に受け入れることとなった誌名及びその備付場所は次表の通りである。この予算は大学図書館の学術雑誌を整備充実し、学内の共同利用を促進し、学術研究の進展に資す

ることを目的としており、購入の対象となるのは外国で発行される自然科学系学術雑誌（一次資料）で、購入後は共同利用に最適な中央図書館又は分館（これに準ずる部局図書室）に集中配架することが条件づけられている。

書名	備付場所	書名	備付場所
1. ACM-Transactions on Database Systems. 1976-1977.	中央図書館	14. Biofeedback and Self Regulation. 1976-1977.	医学分館
2. Acoustics Letters. 1977.	工学分館	15. Biometrics. 1977.	農学分館
3. Acta Botanica Neerlandica. 1977.	農学分館	16. Biophysics of Structure and Mechanism. 1975-1976.	医学分館
4. Acta Clinica Belgica. 1975-1977.	医学分館	17. Bioscience Communications. 1975-1977.	医学分館
5. Acta Histochemica. 1977.	医学分館	18. Biotelemetry. 1974-1977.	医学分館
6. American Behavioral Scientist. 1977.	中央図書館	19. Blood Cell. 1975-1977.	医学分館
7. American Journal of Hematology. 1976.	医学分館	20. Brain Research Bulletin. 1976.	医学分館
8. American Journal of Medical Genetics. 1977.	医学分館	21. C.R.C. Critical Review in Microbiology. 1977.	農学分館
9. American Scientist. 1977.	中央図書館	22. Cancer Detection & Prevention. 1976.	医学分館
10. Animal Reproduction Science. 1977.	農学分館	23. Cancer Immunology and Immunotherapy. 1976.	医学分館
11. Annals of Biomedical Engineering. 1972-1976.	医学分館	24. Cancer Treatment Reviews. 1974-1976.	医学分館
12. Applied Neurophysiology. 1977.	医学分館	25. Child's Brain. 1975-1976.	医学分館
13. Automatica. 1974-1977.	工学分館	26. Clinical & Experimental Dermatology. 1976.	医学分館

書名	備付場所	書名	備付場所
27. Clinical Oncology. 1975-1976.	医学分館	59. International Journal of Energy Research. 1977.	中央図書館
28. Clinical Pharmacokinetics. 1976.	医学分館	60. International Journal of Obesity. 1976.	医学分館
29. Clinics in Gastroenterology. 1972-1976.	医学分館	61. International Journal of Radiation Oncology. 1976.	医学分館
30. Clinics in Haematology. 1972-1976.	医学分館	62. Journal of Antimicrobial Chemotherapy. 1975-1976.	医学分館
31. Clinics in Obstetrics & Gynaecology. 1974-1976.	医学分館	63. Journal of Bioenergetics & Biomembrane. 1969-1976.	医学分館
32. Coal Age. 1977.	工学分館	64. Journal of Chromatographic Science. 1977.	農学分館
33. Comparative Biochemistry & Physiology. Part C: 1977.	農学分館	65. Journal of Clinical Pharmacy. 1976.	医学分館
34. Computer Networks. 1977.	中央図書館	66. Journal of Fish Biology. 1977.	農学分館
35. Cryobiology. 1977.	農学分館	67. Journal of Food Biochemistry. 1977.	農学分館
36. Current Advances in Genetics. 1976.	医学分館	68. Journal of Graph Theory. 1977.	工学分館
37. Current Problems in Diagnostic Radiology. 1975-1977.	医学分館	69. Journal de Gynecologie Obstetrique et Biologie de la Reproduction. 1976.	医学分館
38. Current Problems in Pediatrics. 1975-1976.	医学分館	70. Journal of Invertebrate Pathology. 1977.	農学分館
39. Differentiation. 1975-1976.	医学分館	71. Journal of Medical Virology. 1976.	医学分館
40. Digital Processes. 1974-1977.	工学分館	72. Journal of Molecular Medicine. 1976.	医学分館
41. Ecological Abstracts. 1977.	農学分館	73. Journal of Natural History. 1976-1977.	中央図書館
42. Environmental Biology of Fishes. 1977.	農学分館	74. Journal of Neuroscience Research. 1975-1976.	医学分館
43. Environmental Entomology. 1977.	農学分館	75. Journal of Pharmacokinetics and Biopharmaceutics. 1973-1976.	医学分館
44. Environmental Management. 1977.	中央図書館	76. Journal of Physics. Part B: Atomic and Molecular Physics. 1973-1977 Part G: Nuclear Physics. 1974-1977.	工学分館
45. Environmental Science & Technology. 1977.	農学分館	77. Journal of Statistical Planning & Inference. 1977.	中央図書館
46. European Journal of Applied Microbiology. 1977.	農学分館	78. Journal of Submicroscopic Cytology. 1976.	医学分館
47. European Journal of Behavioral Analysis and Modification. 1975-1976.	医学分館	79. Journal of Texture Studies. 1977.	農学分館
48. European Journal of Clinical Pharmacology. 1974-1976.	医学分館	80. Journal of Theoretical Biology. 1967-1976.	医学分館
49. Experimental Mycology. 1977.	農学分館	81. Journal of Toxicology & Environmental Health. 1975/76.	医学分館
50. Food and Cosmetic Toxicology. 1977.	農学分館	82. Laboratory Animal Science. 1977.	農学分館
51. Gastrointestinal Radiology. 1976.	医学分館	83. Medical & Pediatric Oncology. 1975-1976.	医学分館
52. General Pharmacology. 1975-1976.	医学分館	84. Medical Research Engineering. 1973-1976.	医学分館
53. Health and Social Service Journal. 1976.	医学分館	85. Microbial Ecology. 1974-1977.	農学分館
54. Inflammation. 1976.	医学分館		
55. Information Processing Letters. 1976-1977.	中央図書館		
56. Information Processing and Management. 1977.	中央図書館		
57. Information Scientist. 1977.	中央図書館		
58. International Journal of Biomedical Computing. 1970-1976.	医学分館		

書名	備付場所	書名	備付場所
86. Mining Journal and the Mining Magazine. 1977.	工学分館	97. Progress in Neurobiology. 1973-1976.	医学分館
87. Moderne Arzneimittel-Therapie. 1976.	医学分館	98. Research Communications in Psychology Psychiatry and Behavior. 1976.	医学分館
88. Molecular Biology Reports. 1977.	農学分館	99. Revue d'Epidemiologie Medecine Sociale et Sante Publique. 1974-1976.	医学分館
89. Netherland Journal of Plant Pathology. 1977.	農学分館	100. Seminars in Oncology. 1974-1976.	医学分館
90. Neuropsychobiology. 1975-1976.	医学分館	101. Sensory Processes. 1976/77.	医学分館
91. Neuroscience. 1976.	医学分館	102. Soviet Science. 1975-1977.	中央図書館
92. Nutrition and Metabolism. 1977.	農学分館	103. Technometrics. 1977.	農学分館
93. Oikos; Acta Oecologica Scandinavica. 1977.	農学分館	104. Toxicon. 1977.	農学分館
94. On-Line. 1976-1977.	中央図書館	105. Urology Digest. 1974-1976.	医学分館
95. Pesticide Science. 1977.	農学分館	106. Veterinary Parasitology. 1975-1977.	農学分館
96. Plant Science Letters. 1977.	農学分館		
計		106 誌	

東北大学記念資料室だより

今回は、いつもと少し違った資料をお目にかけることとしよう。本学の卒業生岩井文雄氏が事務局長の任にある東北経済開発センターが纏めた興味深いレポート「国際研究学園都市建設のための基礎的条件調査報告書」（昭和51年）の一部である。（データの基礎数値は「全国大学一覧昭和50年版」によっている。）

ここで要求されているのは、仙台市の学術的機能の集積度である。この報告はそのために大学院博士課程の定員を使用している。これはきわめて、すぐれた着眼だと思われる。

全国各ブロックの中核都市に京都市を加えて比較してある。結果はいうまでもない。院生数が東大（823）京大（564）の次に大きい東北大学をもつ仙台市が、都市として著るしく小さいので、人口10万人に対して83.8人という日本一の学者の卵の密集した町となっているのである。校数3とは東北学院大学と東

北薬科大学を加えた数で、両大学の実数はそれぞれ11と5とであり、残り500が東北大学である。学都仙台と呼ばれる一つの基本的数値といえよう。

都市別大学院博士課程定員調				
	実 数		人口10万人対比	
	校 数	院生数	校 数	院生数
東京(23区)	48	3,065	0.55	35.5
大 阪 市	5	661	0.17	23.8
名古屋市	6	450	0.28	21.6
京 都 市	9	790	0.61	54.1
札幌市	2	455	0.16	36.7
福岡市	3	480	0.29	47.9
広島市	2	189	0.23	22.2
仙台市	3	516	0.48	83.8

人 事 異 動

発令月日	旧 官 職	氏 名	新 官 職	備 考
53. 3. 31	閲覧課閲覧掛長	及 川 三千男	学術国際局学術課付	4月1日付で日本学術振興会事業部人物交流課専門員に出向
54. 4. 1	農学分館図書掛長	矢 部 智恵子	辞 職	
"	閲覧課書庫掛	矢 吉 岡 稔	"	
"	整理課長	吉 平 清 二	名古屋大学附属図書館事務部長	
"	整理課受入掛	菅 沢 栄 治	宮城教育大学附属図書館運用係長	
"	" 洋書目録掛	佐 藤 正 弘	秋田大学附属図書館受入係長	
"	筑波大学図書館部管理課長	玉 木 卓 郎	整理課長	
"	総務課庶務掛長	大 友 弘 基	学生課総務掛長	
"	庶務部庶務課文書掛長	武 蔵 福 志	総務課庶務掛長	
"	閲覧課書庫掛長	石 田 義 光	閲覧課閲覧掛長	
"	宮城教育大学附属図書館運用係長	中 島 甫	医学分館整理掛長	
"	医学分館整理掛長	中 島 通 昌	" 運用掛長	
"	工学部経理課図書掛長	佐 藤 定 夫	工学分館図書掛長	工学分館設置に伴う
"	医学分館運用掛長	小 野 和 夫	農学分館図書掛長	
"	" 運用掛	村 岡 徹	閲覧課書庫掛長	
"	総務課庶務掛主任	佐 藤 賢 策	総務課庶務掛庶務主任	
"	仙台電波工業高等専門学校庶務課図書係	佐 藤 博 子	" 庶務掛	
"	総務課会計掛	佐 藤 正 志	整理課受入掛	
"	閲覧課閲覧掛	松 井 好 次	" "	
"	整理課受入掛	星 政 則	" 和漢書目録掛	
"	" 和漢書目録掛	湯 本 一 義	閲覧課参考調査掛	
"	農学分館図書掛	山 本 カヅ子	" 閲覧掛	
"	閲覧課閲覧掛	千 葉 龍 郎	" 書庫掛	
"	" 参考調査掛	菅 野 博 之	医学分館運用掛	
"	工学部化学工学科図書室	湯 本 智 子	工学分館図書掛	工学分館設置に伴う
"	閲覧課書庫掛	米 倉 進	農学分館図書掛	
"	工学部経理課図書掛事務補佐員	大 沼 和 子	工学分館図書掛事務補佐員	工学分館設置に伴う
"	"	石 川 祐 子	"	"
"	"	佐 藤 礼 子	"	"
"	"	池 田 知 子	"	"
"	"	工 藤 節 子	"	"
"	"	丹 野 みゆき	農学分館図書掛事務補佐員	

○ 第9回国立大学図書館東北地区協議会

行 事 予 定

期日 昭和53年5月19日～20日

会場 東北大学附属図書館

○ 第25回国立大学図書館協議会総会

期日 昭和53年6月14日～16日

会場 筑 波 大 学

《 編 集 後 記 》

◇毎年のことながら春になると春一番が吹きまくる。我々の図書館にも春一番がやってきて、あっと云う間にある者は南へ、またある者は北へと飛んでいってしまった。やがて、風はおさまればかばかと暖かくなるにつれて、新しい芽が出て来るであろう。その芽をつぶさないように皆で育てて行って欲しいものである。

◇木遣子も早いものでもう3年目に入り、これか

らますます盛況になりつつある。皆様の新しいアイデアをとり入れて、新しく変身したいものである。その為にも目新しい原稿をどしどし寄稿して下さい。

◇編集委員の新顔を紹介しよう。新委員は、渡部昌子（参考調査掛）、阿食秀昭（閲覧掛）、それに再任の松井好次（受入掛）、細谷伸枝（和漢書目録掛）である。皆様の協力のもとに頑張っていくつもりですから、よろしく願いしたい。

東北大学附属図書館報「木遣子」

第3巻 第1号（通巻9号）昭和53年4月28日発行

編集委員長 阿食秀昭 編集委員

竹原悦郎、田代 寛、松井好次、細谷伸枝、渡部昌子

発 行 人 長尾公司 発 行 所

東北大学附属図書館 仙台市川内 電話 代表 22-1800 (2408)